

環境負荷(影響)要因		評価対象項目 (環境要素)	評価対象項目に影響 を与える因子	変更前の因子の数量 (発生源の規模又は負荷量)※1	環境影響が同等以下と見なせる 変更後の因子の数量等(公募提案の要件)	備考(参照)		
造成工事 設置工事等 (工事中)	工事関係車両の走行	大気質	NOx 浮遊粒子状物質 粉じん	三重県側から360台/日(片道) 愛知県側から700台/日(片道) 県道103号利用	<ul style="list-style-type: none"> ■左記の数量以下であること ■その他の環境配慮 居住地の走行時間帯配慮 排ガス対策車両の使用 アイドリングストップ など 	大気質(本冊p.136 及びp.137)		
		騒音 振動	騒音 振動				騒音(本冊p.172) 振動(本冊p.193)	
	重機の稼働	大気質	NOx 浮遊粒子状物質 粉じん	(工事機械の稼働最大時:わんぱく原っぱ盛土工事中) ダンプが88台/h } ※2 ブルドーザーが15台/h }		<ul style="list-style-type: none"> ■左記の数量以下であること ■その他の環境配慮 重機の分散配置 排ガス対策重機の使用 定期的な散水 低騒音・低振動重機の使用 など 		本冊p.134,p.172ほか 資料p.8,p.12
		騒音 振動	騒音 振動	ダンプが18台/h } ※2 ブルドーザーが9台/h } バックホー2台/h 転圧機6台/h }				
施設稼働 (供用開始後)	施設利用車両の走行	大気質	NOx 浮遊粒子状物質 粉じん	小型車2500台/日(片道)	<ul style="list-style-type: none"> ■左記の数量以下であること ■その他の環境配慮 居住地の走行速度、通行時間帯配慮 など 		本冊p.149 及び資料p.12	
		騒音	騒音	40km/h走行				
	発電施設(モジュール)	日照反射	日照反射	無し	<ul style="list-style-type: none"> ■設置予定のモジュールの光吸収(又は反射)に関する仕様等が添付されていること ■モジュール面の設置向き(東西南北)及び設置角度を示されていること ■他事例(既存施設)等における日照反射の状況について記述されていること 	本冊p.450~		
	発電施設(逆変換装置)	騒音	騒音 低周波音	無し	<ul style="list-style-type: none"> ■他事例(既存施設)等における状況(実測値)及びその比較が行われていること 			
	全体	地形・地質	沈下量 側方変位量	本冊表8.5.2-1及び2-2	<ul style="list-style-type: none"> ■本冊p.230 と同様の安全性が担保されていること 	本冊p.230		
景観		景観	冒険広場やデイキャンプ場のモニタージュ写真	<ul style="list-style-type: none"> ■モジュール設置後のモニタージュ写真が作成されていること 	又は工事計画			
任意提案項目								

※1) 24年度現在進められている残土ストックヤード及びわんぱく原っぱの整備と工事時期が重複しないという条件

※2) 記載した数量に相当する大気質、騒音、振動 以下であることが証明できれば上記以外の重機の種類及び数量であっても可

※3) 上記、評価対象項目について、環境負荷が従前の事業計画に比べ、同程度以下となる提案を様式15で提出してください。